

ありがとうの灯中

学校便り第4号
令和6年7月8日
福井市灯明寺中学校



今年初めての定期テストを先週に終え、その結果が自分の手元に返ってきたと思います。いかがでしたか？自分が目指した結果を手にできたでしょうか？登校時や休み時間などに、何人かの人にテスト結果について感想を聞いていますが、その多くが「全然ダメ～」「最悪～う」の言葉です（笑）。私自身も中学校の時は部活に専念していて、勉強は二の次、三の次だったことを思い出します。でも、私が人生の中で一番勉強をした時期があります。それは、大学受験のときです。本当に寝る間を惜しんで、1日10時間程やったときもあります。自分でも思い返すと、「よーっやったな～！」と言える程勉強しました。夜数学や英語の問題を解いているうちに、気がつく和外がうっすらと白んでいたことが何度もあります。俗に言うところの『やる気スイッチ』というものが入っていたのでしょうか。。でも、今冷静に振り返って明らかとなることがあります。それは、あのときは確かに「大学受験に合格したい」という願いがきっかけだったと思います。しかし、勉強に一生懸命取り組むうちに、「問題を解く楽しさ」、「新しいことを知る喜び」の方が自分の中でずっと勝り、『結果を求めること』より『歩み（過程）や今を楽しむこと』の方がもっと尊いということ、そして『自分が自分を知れる』『新しい自分に出会える』瞬間がとても心地良くて、ただその想いだけで机に向かっていたように思います。

皆さんは今、中学校という生活の中で「大人になるための準備」をしています。そのため、色々なしんどいこと、辛いこと、苦しいこと、逃げ出したいこと、悩んでいることがたくさんあると思います。でも、それらはすべて「必然」であり、自分が人として成長する上で、とって「大切なこと」だということを知ってください。ただ、一番大切なことは、『自分を信じること』、『自分自身を大事にすること』です。そして、私が皆さんに伝えたいこととして、『仲間（人）の心を大切にすること』と『人に感謝すること』です。これらの想いを大事にして、今できることを一生懸命に取り組んでいけば、どんな環境でも、どんな仕事でも、心豊かに、心温かく、そして、幸せ感や喜びを感じながら「今を生きることができると私は思っています。

実はこの秋に、PTA講演会（親子道徳）として、アラスカ写真家の松本紀生様を本校にお招きします。マイナス40度の極寒の北極の世界で撮影した美しいオーロラや自然の姿、動物たちの愛らしい表情を皆さんに見ていただきます。その松本氏が著書「極北のひかり」の中で、なぜたった一人で命の危険を顧みず写真を撮り続けるのか、また、心のあり方について素直に記されています。将来を模索する中学生の皆さんにぜひ読んでほしい本のひとつです。きっと光（ひかり）が見えるはずです。福井市灯明寺中学校長 佐藤 勉（Big Ben）

<ひまわり教室：有意義な夏休みを過ごすために>



7月1日（月）6限目、全校を対象に、ひまわり教室を行いました。福井警察署少年課の高嶋貴則様を講師としてお迎えし、夏休みを前にして、犯罪に巻き込まれない、また、犯さないようにするにはどうしたらいいのかについてお話していただきました。デジタルタトゥーなどSNSにおける危険性や闇バイトなどの様々な犯罪について、そして、福井県で起きている犯罪についても詳しく教えてくださいました。どの事案においても重要なのは、正しい『判断力』と『自制力』の強さだと言えます。今回学んだことを生かして、『有意義な夏』となるよう、灯中のみなさんの自覚と実行力を期待します。Enjoy your summer a lot!